



10月号

長崎青年協会会報

発行 長崎市魚の町7-7 (社)長崎青年協会 会長 吉野信義

編集 広報委員長 福田穂積



長崎青年

協会憲章

我々は、会員の
団結と相互扶助の
精神の基に、自己
の建設と会員の親
睦を図り、もって
地域社会の発展に
寄与することを目
的とする。



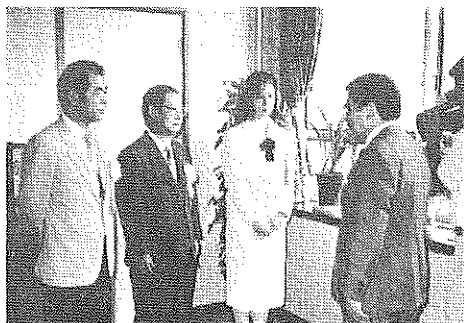
九月例会

レストラン チサン
九月二十一日(十九時)

会長挨拶

先月8月は例会の代わりに家族懇親会でしたので、2ヶ月ぶりの例会です。

この7月8月9月の前半までは我々の事業が、かなり幅転しておりまして、多くの事業に参加して頂きました。7月25日研修委員会のセミナー、チャリテイ・バザーに始まり、先日の全体研修で、この期間の締めくくりをしたわけですが、この全体研修、式見ハイツに於いて、48名の出席で行なわれました。この数年、この全体研修の出席率が低かったわけですが、担当委員長長の田代君、総務担当副会長長の森山君の電話連絡等で多数の皆様方に出席して頂きました。今年もまた、後々までに残る様な出来事があった様です。その場に出席した者だけが分かる思い出が残った様に思います。

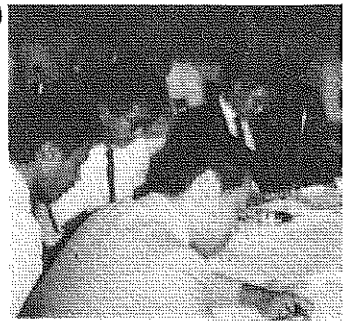


非常に私は嬉しく思います。

先だって、17日、長崎市の老人福祉課から依頼をされまして、私が老人ホームの一日園長を務めてまいりました。場所は、秋月町の鶴舞園で、重度の老人の方々の老人ホームで、担当の福祉委員長長の松本君と5時間程、お邪魔致しまして、一緒に食事など致しまして、一日園長を務めて参りました事をご報告を申し上げます。

ところで来月10月は、我々のメイン事業であります「みんなでもりあげよう長崎くんち」事業の骨格が、先だって決まりました。担当の事業委員会をはじめ、理事のメンバーが総出となり、この事業を成功させる為にやっきになっております。本日は、この内容を詳しく説明し、又、当日は、自分がどういう部署で、どういう動きをすれば良いか細密の打合せを行いたいと考えておりますので、最後まで、ご協力をお願いしたいと思っております。

私はこの「……くんち」事業については、この様な考えを持っておりますので、ご理解願いたいと思っております。我々のこの「……くんち」事業はご存じの通り昭和56年に最初の事業を行ないました。市民会館でインド大魔術団を迎え、チャリテイショーを行ないました。そして、昨年の59年に瓊の浦公園で「くんち共相国」を開催致しました。我々の大きなテーマと言われておりますが、過去2回しか開催されておりません。大きなテーマと言うならば、毎月毎月、毎年毎年、小さいながらも継続していくべきだと思っております。そして、3年間或いは5年間の節目を思い、大きな事業を行ないたい。昨年は大きな事業でしたので今年はいささか小さいながらも我々の考えであります。今の子供達に昔のくんちの良さを味あわせたい、という気持ちで、ささやかながらも我々の汗でやりたい。ですから、こういう小さい事業ですが、毎年継続したいというのが私の考えです。どうぞ、ご理解と、ご協力をお願いしたいと思います。



クレサンベール藤岡
●車検●保険

(株)藤岡石油店
浦上給油所

TEL(44)-7138

会員名 鳥井正臣

和洋酒・食料品

森山酒店

築町3番8号
TEL(22)-4772・(22)-0892

会員名 森山 茂

エッソ石油(株)代理店

朝日石油(株)

TEL(60)-5757

会員名 椎木 亮一

総合設計産業
一級建築士事務所

不動技研工業(株)

水の浦町78
TEL(60)-7940

会員名 吉野信義

講師講演

「長崎観光の現状と今後の展望」

長崎市観光課長 内田進博氏

観光問題は行政だけが行なえるものではなく、市民が観光についての重要性を理解し、観光にたずさわる必要があると思います。その点、最近は特に色々な形で、皆様方を初め、市民の方々が興味を持って頂くという事は、私共にとつて有難い事だと思つています。今年の「長崎くんち」は



七ヶ町が全部出ることになつており、このことは、かつてない事だそう、それだけ町民が長崎の観光には、くんちを盛りあげる事が必要だと認識して頂いてきているからではないかと思つます。それから、若い方々が、くんちを盛りあげようとしてゐることです。

講師プロフィール

内田 進博氏

昭和15年1月 長崎市生

城山小学校

南山中学校

南山高等学校

近畿大学法学部卒業

昭和37年4月、市役所に

入り、税務・福祉・人

事・建築指導部を経て、

昭和58年8月、観光課長

となり現在に至る。



特に昨年、皆様が実施された「くんち共和国」ですが、私は、実は二年前から観光課長でありまして、皆様の催物を昨年初めて見せて頂きましたが、それ以前から、こういった事に取り組んでいらしたとは知りませんでした。今日お聞きしましたら、昭和56年から、「みんなでもりあげよう長崎くんち」のテーマで取り組まれているそうですが、おそらく、こういったご努力が今年の七ヶ町全町が参加するとう盛りあがりにつながつてきている事と、私共は改めて感謝申し上げます。今後、必ずや皆様方のお力が長崎くんちの発展と長崎の観光の浮揚に、大いに役立つものと確信するものであります。

店などのはつきりと観光産業と分るものは480億円、平均しますと、一人当りは約一五、〇〇〇円、一日では約一億三〇〇〇万円のお金が長崎市に落ちる計算となります。バー・キャバレー・パチンコ等の観光関連産業への影響は観光産業480億円の1.5倍から2倍はあると推測されます。観光から得る収益を考えますと、480億円プラス700億円から800億円にもなるのではないかと思われます。今年当初、長崎の観光について危機感を持ちました。何故かといえますと、各種のイベントが各地であり、特に筑波で科学万博が開かれ、当初から200万人を越すんだと言つており、定かでありませんが30万人程越した様であり、それだけ人々が集中するわけです。毎年の旅行者というものは相対ではあまり変わらないもので、したがって全国で毎年500万人が旅行するとすればそれが600万も700万もの人が



大正海上

TEL(25)-3121

会員名 金子 寿 英

味で勝負

黒瀬蒲鉾店

千円以上配達致します

坂町3-8

TEL(22)-8643

会員名 黒瀬 勝 幸

(有)山徳興産

大浦町8-38

TEL(22)-4397

会員名 山下 泰 生

引出物・贈答品・記念品 Kumazawa TEL(0958)22-3555

会員名 熊 沢 悟



旅行することがありえないわけであり、200万人が筑波に奪われるとなれば、残り300万人となり、長崎にも影響がでてくるという事で、業界にもハッパを掛け、私共行政も今回は色んなイベントの観光宣伝を行ない、長崎へ、長崎へと目を向けさせる努力を致したわけです。従って、観光客の増減は、観光産業に波及効果を及ぼすものであります。

長崎の現状を見ますと、造船業と水産業でもっていること、よく言われますが、これらも低迷しているわけでもちろん基幹産業である造船は、昭和57年頃の統計であります、生産高は12億円、水産が77億円、観光が480億円で、長崎の産業の三番手となりますが、先程の観光関連産業も加えると、正に、造船に次ぐ産業だと考えます。



役員会報告

総務副会長 森山 茂

10月7、8、9日の3日間、「くんち広場」と題しまして、みんなでもりあげよう長崎くんち、事業を實施致します。

8月12日、第一回実行委員会を理事13名、監事2名、事業委員会9名及び川添吾郎君を加えて開催以後、週に二回から三回開いております。本日、後に説明会を予定しておりますので、ご協力をお願い致します。

委員会報告

総務委員長 山下泰生

会費の納入をお願いいたします。

三根雄次郎君 ご結婚
高橋誠勇君 長女ご誕生
三枝由人君 長男ご誕生
おめでとう

ご報告いたします。

広報委員長 福田穂積

広告の再募集を個別にお願い致しますので、宜しく。
原稿を依頼された方は締切を守って下さい。

会員開発委員長 田代博昭

新入会員を紹介
尾上賢二君

昭和26年3月26日生
税務相談所

（注）長与町吉無田郷579-25
（電）83-2494

紹介者馬場正勝君
渡部芳信君

昭和32年12月31日生
（勤）ニクヨン

（注）長与町三根郷52-44
（電）87-0642

紹介者田代博明君
兩名共例会委員会に配属

会員交流副委員長 松本義輝

8月18日家族懇親会報告
参加人員 総数85名

大人39名 子供46名
（会員21名）

福祉委員長 松本直行

鶴舞園一日園長報告
福祉事業としてイモ堀り
男幼児用ズボンの集収を
検討中。

事業副委員長 劉 濟才

9月12日 恵ヶ丘原爆ホ
ームへ、ビデオ・テレビ
移動ラック寄贈報告

『くんち広場』概要

1期日 60年10月7、9日

2場所 江戸町公園

（県庁裏）

3時間 午前11時

午後10時

4催物

イお化け屋敷（有料）

口出店（有料）

・ヤキソバ

・ホットドッグ

・ジュース

・カード合せゲーム

・ボール投げ

ハ出店（無料）

・各種ゲームコーナー

和洋酒・瓶・缶詰

太田酒店

鍛冶屋町6番3号
TEL 23-3433・02-3403
会員名 太田 勝 良

石碑・墓地工事・石材彫刻

のなか石材

長崎市麴屋町5-25
（寺町通り・三宝寺前）
会員名 桒中 孝
TEL 24-6571

各種帽子販売

田代帽子店

長崎市銅座町（銀鍋隣り）
☎長崎（0958）22-0816
会員名 田代 博 昭

海産物・食料品・佃煮・田
卸問屋・一番とうふ・田
舎薬膳・製造元

松本屋

長崎市田中町長崎卸田
TEL 37-8055
会員名 松本 直行

恵の丘長崎原爆ホーム をたずねて

先の7月28日、被爆40周年、チャリティーバザーの収益金で購入した、カラーテレビ、ビデオデッキ、及びビデオラック2組を9月12日、吉野会長以下田川事業委員長をはじめ会員の面々が、恵の丘長崎原爆ホームを訪問しました。老人ホームを代表して渡辺さんに手渡され又老人を代表して小田さんより「暖かい気持ち



のこもった贈呈品ありがとうございました。本当に欲しかった品物でした。」とお礼の言葉をいただきました。このあと、お礼の代りにと聖歌「主に愛されて」を、ホームの方全員で歌ってくれました。

秋晴れの下参加者一同ほんとうにすがすがしい気持ちになれた一日でした。

広報 木藤

「ナガサキ・アーバン ルネッサンス2001」

《再生に向けての基本理念》

長崎が抱える基本的課題の解決、我が国経済決社会情勢変化への対応という2つの観点から、長崎再生に向けての基本理念として次の3つをあげることができる。

(1)安全で快適な人間環境都市

◎高い歴史性、文化性を基盤として、災害に強く、円滑な交通流が確保され、また各種生活環境施設が充実するなど、年令、階層を問わず全ての人々が安全で快適に生活できる都市へと再生していく。

◎豊かな文化性や伝統を生かして、市民全てが精神的な豊かさ、ゆとり、生きがいのもてるような文化・教育環境を有する都市として再生していく。

◎「水（海・川）」「緑」を基調にアメニティ、うる

おいのある、国際的にも通用する高水準の都市環境をもつ都市へと再生していく。

(2)地域経済力のある高次産業都市

◎今後何を生活の糧としていくかを見極め、それに沿って地域産業を振興し、活力ある経済基盤をもつ都市へと再生していく。

◎サービス経済化の進展に対応し、第3次産業を軸とした高次の産業構造へと変革、強化し活力ある地域経済へと再活性化を図る。

◎基幹産業であった漁業や水産業、工業（造船）といった第1、2次産業においても研究開発機能やマーケティング機能等を強化し、より高次の産業へと転換し、活力ある地域経済再活性化を図る。

◎高度情報通信システム導入等情報機能を強化し地域産業の高次化を促す。

(有)松浦印刷

八幡町6番21号
TEL(23)-2575

会員名 松浦文寛

百武製麺所

籠町5番15号
TEL(23)-2693

会員名 勝本博文

全国宝石学協会会員

ジュエリー彩

伊勢町3番10号
TEL(23)-1953

会員名 大石巖

鯉魚一揚

鮎の浦バス停前
TEL(61)-9840

会員名 久保征幸



9月21日例会出席率			
役員	90	%	%
総会	45	%	%
例会	50	%	%
広会	30	%	%
会会	67	%	%
研	22	%	%
修	50	%	%
業	50	%	%
員	30	%	%
開			
交			
員			

③ 国際社会に開かれた
国際平和交流都市
 ① 世界平和を基調に国内外の人々と活発な交流ができる、世界に開かれた都市として再生していく。
 ② 活発な国際交流を通して住民の国際感覚と交流への積極的参加意欲の醸成・地域産業の事業機会拡大など、国際化時代に対応した活気ある都市へと再生していく。
 ③ 活発な交流に伴う人、物、情報の集積を生かし長崎の情報拠点性を高め、情報化時代の国土構造に対応した都市へと再生していく。

青年協会と福祉

福祉委員会 松本直行

会員諸兄 福祉とは何か考えた事がありますか？私達は今年の四月まで福祉という話があっても理解しようとも考えようとしませんでした。半年すぎたおぼろげな形ではあるがうつつらと福祉の本音の目的、本当の姿が見えてきたような気がする。言葉の意味はしあわせ、辛いと言う意味で、福祉国家とは国民全体の幸福追求を目的とする国家なのであります。ただ国民全員が幸福になれるかと言うと、一概には言えないような気がします。人の幸せの意にはうらむ人、悲しんでる人、苦勞する人がいるような気がする。先日、会長が養護老人ホーム「鶴舞苑」へ一日園長として私も同行し半日見て回りましたが、六十歳以上の人々で、最高齢者が九十一歳で、寝たきりの人や、老人性痴呆症の人や、十年前までは一線で

がんばった人が、今は治療にはげんでいたが、この人達は幸せなのかと疑問を感じた。ある人は帰っても家がせまくて、嫁はパートでかまってくれない。本人もつらい嫁はまたつらい、老人ホームでは完全看護である本当に老人ホームでは幸せなのか。

視点を變えて全員が幸せな状態を考えて見よう、子供がいる夫婦がいる老母老父が健在である。老人が死んで不幸である。子供が病気でみんな悲しむこんな事がない世界はあるわけではない。ただ有史以来、現在ほど福祉が完備している時代はない。しかしまだ福祉が足りないと言う、青年協会としても何かお手伝い出来ないかと福祉委員会を作った、我々に何が出来るのか自問自答してほしい、我々の憲章にある相互扶助の精神、これではないでしょうか。

(次号につづく)

第一生命 保険相互会社

長崎市小ヶ倉町3-466-3 岡田ビル2F

TEL(78)-4547

会員名 布施 健一

トラック・バス販売

長崎三菱ふそう 自動車販売株式会社

TEL(45)-2111

会員名 徳本知行

松下電工代理店

(株)富士商会

五島町5-22 TEL(24)-3741

会員名 木藤俊郎

(有)井口建具アルミ店

松山町4-51 TEL(47)-3003

会員名 榎原弘光

東京海上

自動車・火災
その他損害保険

TEL(24)-0705

会員名 小川 一朗

華燭の殿堂

中国料理 京華園

新地町9番7号
TEL(21)-1507

会員名 劉 濟才

システムキッチン・収納家具
サウナ・暖房・店舗デザイン
カーテン・クロス・ジュタン
新しいライフスタイルの提案

株式会社 アルス

松山町3-77
TEL(45)-7178

会員名 松尾 豊明



賑町9番11号賑橋ビル4F
THONE(25)-2566

会員名 竹中 悟